

令和4年度 小国まちづくりセンターの主な取組

事業名

自然豊かな地区を活かした事業

P

●事業実施に至った背景、目的

少子高齢化の中、この地区の特色である自然と郷土の良さを伝えるふるさと学習に取り組んでいる。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

「自然に親しむ会」・・・実行委員会(地区内各種団体で構成)

「ふるさと地域学習」・・・てこの里おぐに、最中山神社、金城中学校(ふるさと再発見事業)
藤若農産、桑田岩石園、抱月公園

「共育事業」・・・雲城小学校、おぐに保育園、食改、てこの里おぐに
金城中学校

「小国ふるさと学校」・・・センター運営推進委員会

D

●事業の概要

・「ふるさと地域学習」では、見学場所を決めてセンターが連絡場所になり話し合いを行う。

・「共育事業」は小学校とセンター、地区の団体との活動実施。

「小国ふるさと学校」は小国まちづくりセンター運営推進委員会で企画、運営。地区の方と協力し、前日に準備し2日で行った。

C

●事業実施後の振り返り

・行事は恒例化となっており自然を活かした内容となっており来られた方は喜ばれている。

・企画・運営をする方が、高齢化になり体力的に難しくなっている。

A

●令和5年度以降の方向性

・同じ小学校区にある雲城センターとの連携強化。



おぐに保育園の園児とのいも苗植え



小国ふるさと学校